



■ 事業所一覧

札幌営業所	〒060-0002	札幌市中央区二条西4丁目1番地（札幌三井JPビルディング13階） TEL 011-271-0700 FAX 011-271-0702
東北支店	〒984-0051	仙台市若林区新寺1丁目2番26号（小田急仙台東口ビル8階） TEL 022-385-5092 FAX 022-385-5093
名古屋支店	〒450-6427	名古屋市中村区名駅3丁目28番12号（大名古屋ビルヂング27階） TEL 052-569-1381 FAX 052-569-1382
北陸営業所	〒930-0004	富山市桜橋通り2番25号（富山第一生命ビル5階） TEL 076-432-8881 FAX 076-432-8832
関西支店	〒530-0003	大阪市北区堂島1丁目6番20号（堂島アバンザ10階） TEL 06-6344-7605 FAX 06-6344-7609
中国支店	〒710-0055	倉敷市阿知3丁目14番7号 TEL 086-430-0255 FAX 086-430-0252
四国営業所	〒760-0019	高松市サンポート2番1号（高松シンボルタワー） TEL 087-811-6780 FAX 087-811-6781
九州支店	〒812-0025	福岡市博多区店屋町1番35号（博多三井ビルディング2号館6階） TEL 092-283-5277 FAX 092-283-5228
那覇営業所	〒900-0015	那覇市久茂地3丁目21番1号 國場ビル11階 JFE商事（株）那覇営業所内 TEL 098-869-1577 FAX 098-868-5458

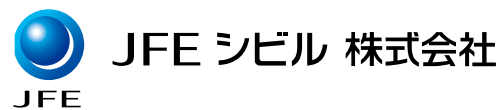


こちらから
「メタルロード工法カタログ」が
ダウンロード出来ます。



「メタルロード®」の名称、ロゴは、日本国における
JFEシビル株式会社の商標または登録商標です。

■ お問い合わせ先



社会基盤事業部 営業部 <https://www.jfe-civil.com>

〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目17-4 JFE蔵前ビル
TEL: 03-3864-3661 FAX: 03-3864-7319

お客様へのご注意とお願い
 ●仕様は予告なく変更する場合があります。カタログは令和7年3月現在のものです。
 ●本カタログに記載された性能値等の技術情報は、規格値を除き何ら保証を意味するものではありません。
 ●本カタログに記載の製品は使用目的・使用条件等によっては記載した内容と異なる性能・性質を示すことがあります。
 ●本カタログ記載の技術情報を誤って使用したこと等によって発生した損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

0325N-0500ST

災害に強い
メタルロード工法



METAL ROAD



JFEシビル 株式会社
JFE Civil Engineering & Construction Corp.

命をつなぐ道路がある。 メタルロード工法

一瞬にしてすべてを奪い去る大地震。

激甚化・頻発化の一途をたどる水害や土砂災害。

災害大国ニッポンに暮らす私達にできることは、災害時への備えを強化するほかありません。

鉄鋼で培った技術力をもとにJFEシビルが追求してきたのは、

ライフラインとしての道路のあり方。

被災時にも健全性を保ち、人々の暮らしを守る道路であること。

加えて、一刻も早い被災地復旧・復興をかなえる道路であること。

つまり目指すべきは、災害に強い道路づくり。

そんな考えをもとに「メタルロード工法」は生まれました。

いかに守るか。復興を早められるか。

命をつなぐ道路が、ここに 있습니다。

メタルロード工法が災害に強い3つの理由

01 高耐久な構造

壁構造でないため、背面水の影響を受けにくい構造です。

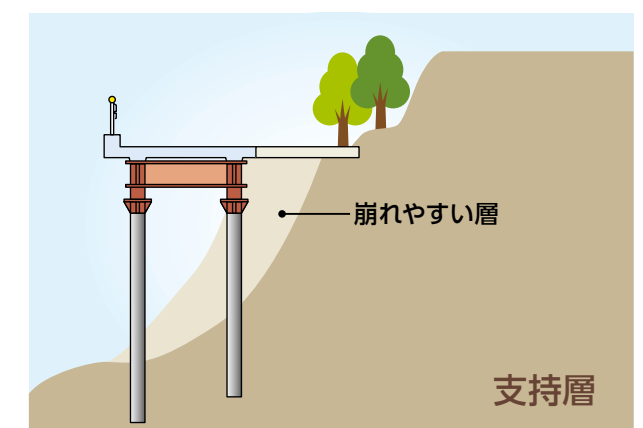
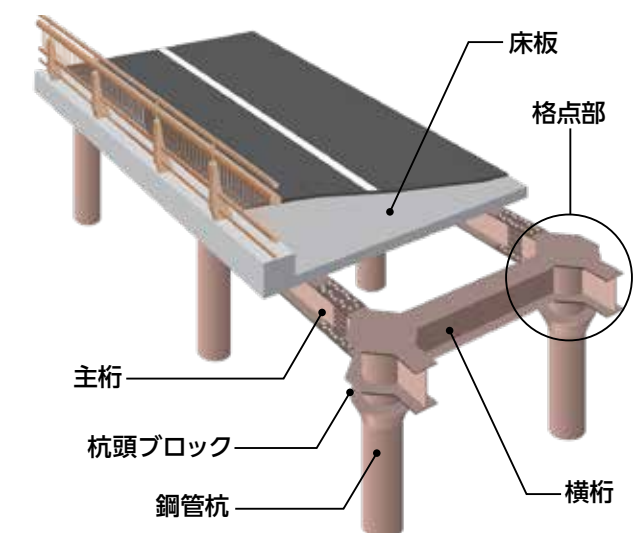
02 支持層で支える

杭を支持地盤に根入れすることにより、道路構造物を安定的に支えます。

03 被災想定設計

地すべりなど崩壊層の消失を考慮した設計が可能です。

JFEシビルの『メタルロード工法』は鋼管杭と鋼桁を連結した堅固なラーメン構造で床板を支える道路工法です。



NETIS
登録済み

JFEシビルが開発したメタルロード工法は、NETISに登録された工法です。
NETIS登録 No.QS-980157-VE (掲載期間終了技術)

メタルロードは 「地震」に強い



石川県・輪島市

能登半島地震（令和6年1月）



被災前



被災後

震度7の揺れにも被害なし



- 平成21年竣工のメタルロードが令和6年1月の能登半島地震（マグニチュード7.6、最大震度7）にて被災
- 近隣では電柱の倒壊や法面崩壊が発生
- 前後の道路は崩壊したが、メタルロード部には損傷なし。通行可能となっている

新潟県・長岡市

新潟中越沖地震（平成16年10月）



被災後

施工途中の被災ながら無事

- 2件のメタルロードの施工中に被災
- 現場へのアクセスおよび周辺道路にはヒビ割れが発生するなど深刻な被害
- 施工中の両メタルロードでは損傷等なし

メタルロードは 「豪雨」に強い



三重県・多気郡大台町

台風21号（平成16年9月）

- 大雨の影響で、大台町を中心に甚大な被害
- 宮川の河川増水で盛土部の道路は崩壊
- 道路山側は土砂崩れ被害
- メタルロード部は健全。被害や損傷はなし



被災後

盛土崩壊してもメタルロード部は健全

山形県・戸沢大蔵線

肘折希望大橋

- 平成24年、豪雪後の気温急上昇にともなう多量の融雪水で地すべり発生。生活道路が崩壊
- 4ヶ月で仮設、翌年5月から工期6ヶ月で本設
- 国内最長クラスの鋼製栈道橋「肘折希望大橋」が完成



施工後

冬季唯一の生活道路。
全10ヶ月の工期でスピード開通

愛媛県・伊予市

林道粒野カヤマ線

- 平成30年の台風にとまなう豪雨で林道が崩壊
- 滑り層があるため杭で荷重を支持層に伝達できるメタルロードが採用
- 道路山側は土砂崩れ被害
- メタルロードの現地施工期間は約3ヶ月



施工後

滑り層の多い林道にも続々とメタルロード採用

メタルロードは 「復旧」が早い



山梨県・南巨摩早川町

県道 37 号線／アルプス公園線

令和元年の台風19号で被災し、道路が崩壊。
まずは仮栈橋工法で1車線分を応急復旧。
その後メタルロードにて本復旧した。
他工法と比較して、現地工事の施工期間が約半分となり、
大規模な掘削も発生しなかった。

被災時

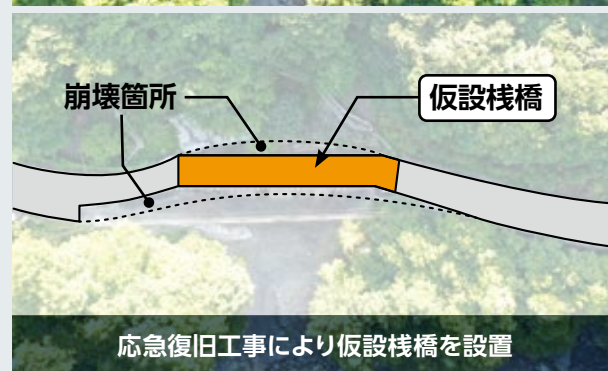


施工後



常時 1 車線の通行を確保しながら本設道路を構築

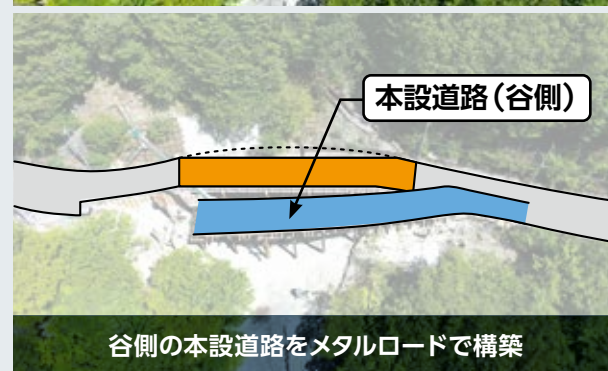
STEP 1



応急復旧工事により仮設栈橋を設置

まずは仮復旧を急ぐべく、仮設栈橋により片側交互通行を確保した

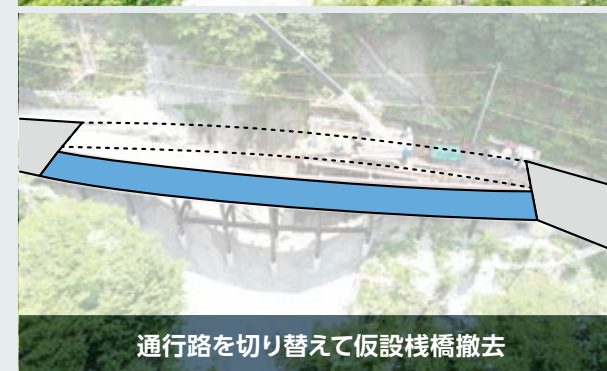
STEP 2



谷側の本設道路をメタルロードで構築

本復旧に向けて、メタルロードで本設道路1車線分を構築した

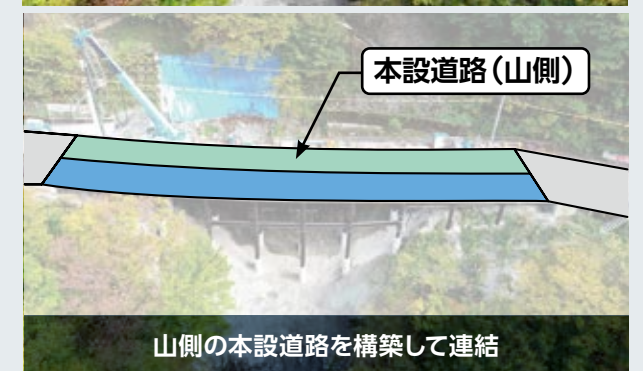
STEP 3



通行路を切り替えて仮設栈橋撤去

通行路線をメタルロード側に切り回し、同時に仮設栈橋を撤去した

STEP 4



山側の本設道路を構築して連結

山側1車線のメタルロードを構築し、構築済みのメタルロードと接続した